

い と だ 議会だより

第47号

9 令和7年
月定例会

令和7年11月発行
(2025年)

福岡県糸田町議会

子どもたちの安全を見守る
メンバーを募集中です！



- p 2 まちはどうなっちゃうと
- p 4 一般質問(町政を問う)
- p14 委員会審査
- p19 町立病院の建替計画は？



新烏尾公園

年間維持
管理費

公園草刈など：合計約 154 万円(年 2 回)
遊歩道整備：約 73 万円



▲ 新烏尾公園(多目的グラウンド) ▲



▲ 新烏尾公園(多目的グラウンド) の上段



▲ トイレ



▲ 山へ続く階段 ▲



▲ 階段途中にある広場



ゴルフなど無断で使用
されていたり、課題は
多いみたい

新烏尾公園(多目的グラウンド) をキャンプ
で利用する場合は許可が必要だよ
詳しくは社会教育係(電話 26 - 0038) へ!



まちは どうなっちゃうと



町内の現在の姿をお届けするコーナー。今回は 3 箇所をピックアップして取材。

金山アジサイ園 (9月30日撮影)

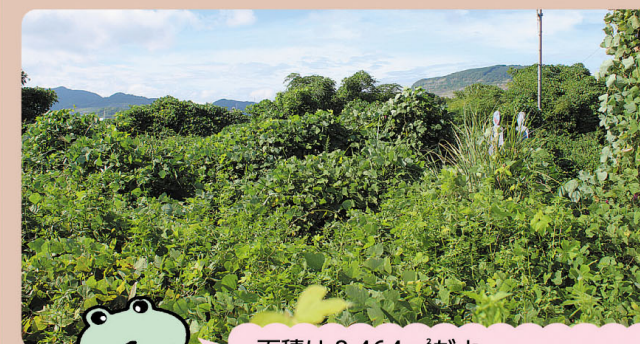


管理維持費は年間で
約 165 万円だよ

また来年キレイな花
が咲きますように!



町民プール(跡地)



面積は 8,464 m²だよ
放置されて約 30 年近くなるんだって



今後の活用方法を考え
なきゃいけないね





谷口 輝昭



動画はこちらから



▲ 真岡団地

問 空き家は300件を超えている。所有者との連絡もうまくつかないなど問題が多い。近年草木等の苦情が多くなった。隣接する住民は大変に困っている。草木等の苦情は管轄の課だけで対応するには無理がある。各課の壁を乗り越え、職員全体で協力、共有すべきと考える。各課何名かずつ選出して、チーム的なものを作って活動をしてはどうか。

答 今の職員体制で新設は非常に厳しい。今後十分に検討していきたい。

答

シロアリ駆除については、補修

答

地元と協議しながら検討する。

問 移転先の空き家補修。真岡団地4件、新岡団地3件、金村団地4件で、畳・壁・ふすま・風呂・網戸・トイレ等は当然新しくなると思うが、シロアリ点検は考えているか。

問 宮床町宮または真岡団地もそうだが、鳥が入ってきてフンなどするので、衛生的に問題点があると苦情を聞いている。真岡団地は6階建てで宮床団地より高く、被害が多くなる事が考えられる。鳥対策はどのように考えているか。

問 建設中の宮床団地より建設費用が高

答 防犯カメラの設置は進めていきたい。

問 関係区民が納得した上で建設を

答 今まで以上に住民との連携を図っていききたい

答

1棟あたり3台程度を考えている。

問 来客者等の駐車スペースを設けると聞いているが、何台を予定しているか。

問 防犯カメラの設置は盗難等の抑止力になる。何より住民の安全性の確保になり、安心して生活できる。防犯カメラは必要であり、必ず設置をするべきである。

答

有効な対策がないか研究する。

問 共用灯に集まる虫等の対策は。

前に調査をおこない、駆除が必要であればおこなう。

問 真岡団地建設は、行政区とコミュニティ

答 円滑に事業を進めていくためには当然な事。今まで以上に住民との連携は図っていききたい。

問 草木の苦情は管轄の課だけの対応には無理がある

答 今後十分検討していききたい

町政を問う!!



9月定例会では、9人の議員が※一般質問をおこない、活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は5ページから13ページです。



▲ 井手元議長

山田 陽一 (10ページ)

- 病院長交際費の経営安定化費の支出について
- 下糸田地区道路拡幅について
- 中学校門前に送迎車が数台並び、対向車等の目視ができなくて非常に危険。

仲島 誠一 (11ページ)

- 中学校入学時の保護者負担軽減について
- 小学校体育館、中学校全体の建て替え
- 福祉センターの風呂に入る時、支援を必要とする人および付添い人に割り引きできないか。
- 中学校の入り口校舎を綺麗にできないか。

小嶋 康子 (12ページ)

- リチウムイオン電池製品混入防止
- 水泳授業スイミングスクールに委託
- いっとこカー 200 円の料金を 75 歳以上 100 円にできないか。

白銀 秀樹 (13ページ)

- 運行1年を迎えるいっとこカーの利用状況について
- カラスや猫など動物等による散乱ごみ対策は
- 宮床団地駐車場問題でのE棟工事終了後、空き地に駐車場を検討する計画を問う。
- 隣家や道路にはみ出している庭木の整備について。
- カーブミラーに木や枝などで見えない箇所の撤廃について。

谷口 輝昭 (5ページ)

- 関係区民が納得した上で建設を
- 草木の苦情は管轄の課だけの対応には無理がある

木下 智康 (6ページ)

- 町立病院院長交際費の支出について
- 子どもへのアリーナ体育室の開放について
- 糸田山笠だけでなく、もう一つ二つくらいイベントを考えていけないか。

松瀬 征行 (7ページ)

- 町立新病院の新たな医師の確保の取り組みは
- 带状疱疹ワクチン接種は 50 歳から補助は不可能か

早麻 雄三 (8ページ)

- 住民参加による地域課題の共有を問う

森下 喬廣 (9ページ)

- 病院建替え事業の再検討の意思はあるか
- 持続可能な行政区についての町の方針
- 未収金について、横断的対応ができる専門組織として債権対策班の設置を要望する。
- 水門樋門管理について、技術的、制度的な改善に向けた取り組みの方向性。

一般質問

※お知らせ
木下議員の一般質問中、6ページのとり町立病院事務長の答弁がありました。一般質問の日程中に事務長から答弁を撤回する旨の発言がありましたのでお知らせします。

各ページに掲載している二次元コードから、一般質問を動画で視聴できるよ



総務課	防災管財課	税務町民課	地域振興課	人権推進課	教務課
健康福祉課	子育て支援課	建築課	土木課	町立緑ヶ丘病院	



まつせ まさゆき
松瀬 征行



動画はこちらから



きのした ともやす
木下 智康



動画はこちらから

問 町立病院院長交際費の支出について

答 今後疑いのないような形で十分配慮していく

問 経営安定化対策費として、毎年、夏・冬継続的に合計30万円の商品券を渡している。

謝礼が業務上の便宜、医師派遣などに関して認定されると贈収賄の疑いにつながる。公金を謝礼として使うことを正当化する発想は、政治的、倫理的にも公金を私的にばらまいたと批判される。謝礼だからという、商品券を渡すことは正当化できない。

答 町長 一般社会的、慣習的儀礼の範囲であれば問題ない。

問 大学病院側に商品券を渡すことによつて、規約違反になり迷惑になる。これを機にやめていただきたい。

院長交際費からの寸志の支出は違法性があり、何のための大学病院への支出か？

答 町立病院事務局長 九大第1外科から医師派遣していただいている。旅費等の一部補助。第1外科のほうから請求、支払いをしていただきたいと年1回送られてくる。旅費は医師に支払いをしているが、それに対し

問 町立新病院の新たな医師の確保の取り組みは

答 1月から自治医大卒の医師と県に医師派遣要請中

問 地域医療の中核を担う新病院に向かって3点を問う。

①糸田町立病院の建設進捗状況について。
基本計画の令和7年度は、基本設計、実施設計等だが現在の状況は。

答 町立病院事務局長 基本設計は完成。今後は施工予定者と実施設計し、令和10年5月開院を目指す。

問 ②2階建て案か、1階建て案か、2案を問う。

問 ③医師の確保を問う。

医師不足の主な要因は、以前は新人の研修医師が地方の医療機関に派遣されたが、平成16年新制度が導入され研修先を自由に選べることになり、多くは都市に行き地方には来ない背景もあり、医師不足が生じている。

答 町立病院事務局長 2階建て案で決定した。プロポーザル審査委員会(田川市立病院、福岡県立大学の各先生など10名)令和7年2月16日に決定した。

町政を問う

て不足する分の補助。

要望 寸志の名目で渡すのはルール違反になる。寸志として送った時点で公債費。目的外の使用も考えられる。大学病院側から言った場合、寄付や謝礼と言われる。

問 子どもへのアリーナ体育室の開放について

答 現時点では子どもたちだけの体育室開放は困難

問 放課後や長期休み時期、夏休みや冬休みなど、子どもたちの

その様な状況で新病院に新たな医師の確保へのアクションと展望は。

答 町長 病院経営は医師が核！現在院長候補確保と県に医師派遣を働きかけている。

問 新病院の健全経営は、医療体制の充実。その中でも医師体制が鍵を握っている。

問 带状疱疹ワクチン接種は50歳から補助は不可能か

答 現時点では当面国の動向を見て考える

問 带状疱疹ワクチン接種状況について。

遊び場として開放してはどうか。小学校のグラウンドの開放と併せて検討していただきたい。

答 町長 大人の見守りがなく、体育室の自由開放は困難である。

答 町立病院事務局長 夏季休み中は、子どもたちが屋外で遊ぶ機会が減少している。アリーナ体育室は、エアコンの使用により子どもが十分に体を動かせる広さもあるが、安全管理面において課題がある。

これも質問

問 糸田山笠だけでなく、もう一つつくらしいイベントを考えていかないか。

答 町長 子ども山笠。安全安心まちづくり大会。子育て支援室で理科読とというのをやった。

▲ 金山アジサイ園

令和7年度の定期対象者年齢と、周知方を問う。

答 健康福祉課長 65歳から5歳刻みで、対象100歳以上の方は全員が対象となる。

周知は広報や対象者には、個別に案内通知を送付している。

問 予防接種の申込みの方法、自己負担額、ワクチンの種類、有効期間などを問う。

答 健康福祉課長 申込みは直接病院で予約。生ワクチンは1回、不活化ワクチンは2回接種が必要となる。

有効期間は、生ワクチンで1年後で6割、5年後は4割。不活化ワクチンは1年後に9割以上、5年後でも9割程度持続される。

。アリーナは屋外で活動した後、涼を取り静かに過ごす場として活用してもらいたい。

答 町長 今後、外で遊べる環境、必ずしも建物の中ではないけないと思うのは考え過ぎだと思う。

要望 今後、町民グラウンドで遊べなくなり、アリーナのロビーがクイリングシエルターとなつても、子どもたちはどこで遊ぶのかという問題に直面する。室内で遊べる場所の提供を早急をお願いしたい。

クチンで6千500円、2回接種必要で合計1万3千円となる。

問 50歳からの予防接種の補助を求める。

答 健康福祉課長 国に準じないの、公費負担は全額町から支出となる。

問 ワクチンの副作用について。

答 健康福祉課長 厚生労働省は、副反応として皮膚が赤くなる。筋肉痛、発熱、1度に様々な反応が現れるアナフィラキシーもある。国の救済制度がある。



▲ イメージ写真



もりした たかひろ
森下 喬廣



動画はこちら



はや ま ゆうぞう
早麻 雄三



動画はこちら

問 住民参加による地域課題の共有を問う

答 どういう形で取り入れるかを含めて前向きに検討する

問 町として見える化の取り組みをどのように捉え、今後の政策形成や住民参加の促進にどう生かしていくのか。

担当課とも十分協議しながら、もう少し時間をいただきたい。

答 共有するための視覚的かつ参加型のツール、これは私も当然有効だと思っている。

ただ、その中で何をどのように見える化するのかというようなことも考えていく必要があるし、組織体制等をどうするかという問題もあるので、

問 町として対話の場の在り方をどのように捉え、今後の町政運営にどう位置づけていくのか。

答 ワークショップの開催というところで、住民の声が政策に反映されるのは有意義なことだと思う。ただ、ワークショップをするにしても進行役の質の問題

などいろんな課題もある。そういうのをクリアしながらワークショップを開催していくということは、有意義なことだと私も考えている。

ただ、糸田町は議会制民主主義を取っているので、車の両輪である議員の皆さん方の意見を伺う中で、どういう形の住民参加を取っていくのかも含めて、今後検討していく。

問 若者の創意を生かす制度設計や財政支援の方針について、今後どのように取り組んでいくのか。

答 若者の政治参加、大変大事なことだと思っている。先進事例も探りながら糸田町に導入したらどういうメリットがあるのか、こういうことは可能じゃないかということも、今後十分検討していく。

問 住民参加型の政策評価制度の導入に向けたビジョンをどのように描いているのか。また、制度を支える体制整備についてどのような方針を持っているのか。

答 住民参加型の政策評価制度というのは、政策の妥当性や透明性を高めて、町民の信頼性と政策形式に参加しているという意識醸成のためには、大変いいことだと思っている。

行政として取り入れるところがあれば、どういう形で取り入れるかを含めて前向きに検討していきたい。



▲ 糸田町

問 持続可能な行政区に ついての町の方針

答 加入してよかったと思える施策を打つ必要がある

問 行政区の活性化に向けて、どのような取り組みおよび支援策をおこなっているのか。

答 町の取り組みとしては、行政区組織検討委員会にて持続可能な行政区について検討をおこなっている。支援体制としては、行政区内住民票1世帯あたり千円の委託料を支払っている。

問 地域のつながりや支え合いの仕組みが失われつつある現状に対し、持続可能な行政区を築くための必要な要素は何で、町としてどのような方針を持っているか。

答 1番の思いは、行政区に加入したほうが良かったなあと思えるような施策を打っていくことが必要。知恵を借りながら努力していく。

問 病院建替え事業の再検討の意思はあるか

答 病院建設を断念することは考えていない

773万8千850円。累積欠損金は、5億9千432万2千33円である。

問 令和6年度決算では、町立病院の純損失が2億1千700万円にまで膨らみ、予測との乖離も2億円に達している。

経営の不安定さが明らかになった今、病院建て替え事業計画の再検討をおこなう意思はあるか。

問 令和6年度の純損失額および令和6年度末時点での累積欠損金額は幾らか。

答 令和6年度純損失は、2億1千

答 病院建て替えについては、構想委員会検討を重ねており、現時点で断念する考えはない。

累積欠損金のみで判断するのは拙速との専門



▶ 糸田町立緑ヶ丘病院

問 未収金について、横断的対応ができる専門組織として債権対策班の設置を要望する。

答 現時点では、設置については考えていない。

問 水門樋門管理について、技術的、制度的な改善に向けた取り組みの方向性。

答 災害対応の改善に向け、関係課と十分連携をとりながら取り組んでいきたい。



なかしま せいいち
仲島 誠一



動画はこちらから



やまだ よういち
山田 陽一



動画はこちらから

町政を問う

問 病院長交際費の経営安定化費の支出について

答 原則に則ってやっている

問 同僚議員が6月定例会で質問をし、事務長答弁では、目的は医療機関や医師派遣元の大学医局へ、年2回お礼や今後の挨拶で商品券を購入と説明している。経営安定化費として、町内クリニックや大学病院各診療科に令和元年度54万円、2年度27万円、3年度26万円、4年度24万円、5年度24万円、6年度28万円の商品券購入。相手先を教えないとしているが、本当に渡したか確認があるのか

答 原則に則ってやっている。交際費で商品券という名目なら、渡した証拠も要らないというのであれば、仮に今後100万円になっても中身を追及できないことになる。支出先の確認を取れないというような事は、不適切だと思う。

問 下糸田地区道路拡幅について

答 県道なので町が主導して動きづらい部分がある

にしてほしいとして、一旦話しが中断している。地区が令和7年3月に総会を開き、全会一致で早期実現に向けての賛同を得ている。県側としては町からの要望があれば、すぐにも動いてもらえる準備があるような事を聞いているので、町に強く要望してほしい。

答 県側の対応として、再事業化するにあたっては、地権者の承諾書と沿線周辺住民の施工同意が必要。



県道赤池・糸田線

それを取りまとめる下糸田行政区からの要望書になる。県道なので、町が主導して動きづらい部分がある。今までの経緯も踏まえて、地域からの動きを待っているところ。

答 町長 原則に則ってやっている。情報開示の必要性はないと思う。意図的に隠しているという事ではない。

問 下糸田地区の道路拡幅は、修理田橋から糸田町消防団第2分団詰所付近のことで、地区から平成22年に道幅が狭く、交通量が増加して危険であると道路整備の要望書が出ている。事業化が進んでいる中で、一部地権者から要望があり、工事を一時中止

問 中学校門前に送迎車が数台並ぶと、対向車等の目視ができなくて非常に危険。

答 駐停車禁止のパネルを貼って、目で見て知らせることも考えている。

問 中学校入学時の保護者負担軽減について

答 既存の財政的な負担が町に多い

近隣市町村の中学校と比較してどの程度の水準か。

答 教務課長 サイズにより多少差はあるが、男女共に3万5千円。田川市郡内で比較した場合、比較的安く設定。

問 価格設定で根拠があるか。

答 教務課長 令和5年度に制服変更の要望を受け、PTA役員および教職員で制服検討委員会を立ち上げ選定。保護者の経済的負担にも配慮し、学生服やセーラー服よりも価格を抑えた設定を念頭に検討が進められた。

問 小学校の入学祝い金は5万円。中学



糸田中学校制服

問 全国的公立小中学校で、老朽化を原因とする安全面の不具合は年間約3万2千件も発生。多くが外壁や窓枠の落下。学校施設の安全を脅かす深刻な問題である。小学校の体育館、中学校全体の施設の建て替え時期は、具体的にいつ頃か。

答 教務課長 施設の老朽化が進み、できる限り早期に着手したいが、現在の厳しい財政状況を

答 過疎債や各種補助金の活用による財政確保は不可欠

踏まえ町の独自財源による負担を極力抑える必要があり、過疎債や各種補助金の活用による財源確保が不可欠。

他の公共施設の建て替え計画も並行して進められている中で、全体の整合性を図りながら優先順位を設定し、計画的に事業を進めていく必要がある。現時点で具体的な実施時期は、明確に答える事は難しい。

問 体育館、学校施設の整備も急ぐべきだが、子どもたちの健康を守るために、熱中症対策として体育館に簡易的エアコン設置をしてはどうか。

答 教務課長 簡易的に熱中症対策の一環として、スポットクーラーなどの設置を検討したい。

問 中学校の入り口校舎を綺麗にできないか。

答 教育長 外壁の件については、もう少し検討。

問 福祉センターの風呂に入る時、支援を必要とする人および付添い人に割引できないか。

答 健康福祉課長 介護者の割引を実施すれば、施設側は設備の改修が必要になる。現在は難しい。

町政を問う



しろがね ひで き
白銀 秀樹



動画はこちらから



こじま やす こ
小嶋 康子



動画はこちらから

問 リチウムイオン電池 製品混入防止

答 広報誌等を利用して分別の呼びかけをおこなっている

問 スマートフォン、加熱式タバコ機器、電動歯ブラシ、ノートパソコン、携帯扇風機、ワイヤレスイヤホン、モバイルバッテリーなど、繰り返し充電できるなど高い利便性から普及する一方、熱や衝撃に弱く、不適切な使用や管理による発火事故が相次ぎ、家庭ごみの中に混入され、ごみ処理施設で火災が発生しているところもある。

答 大任町のごみ処理場で、ごみのピット内で火が出たり不燃物の破砕機の中では、頻繁にリチウムイオン電池が混じって発火している状況が毎日のように出ている。消防とも訓練をおこないながら注意して、業務をおこなっている。

答 町を取り組みは、分別の呼びかけ、委託業者も回収には中身の確認を十分注意しておこなっている。

問 今年度、水泳授業は気温が高かった

答 例年であれば、各学年8時間程度実施しているところ、今年度は2・3時間と少ない学年があった。

答 外部委託による対応についても、スイミングスクールと協議をおこなったが、現在のプール関係予算では、各学年2時間程度の利用時間しか確保

問 水泳授業スイミング スクールに委託

答 来年度以降のプール授業の在り方を検討

答 役場前の資源回収コンテナに回収枠を設置、小型家電ボックスを役場内、保健センターにある。アリーナなどに増設を検討したい。

答 ためか2回ぐらいしかできなかった。水泳は命を守る大切な授業、身体能力を高めるためでもある。

この水泳授業、外部のスイミングスクールなどに委託できないか。



▶ 糸田小学校プール

問 今年度、水泳授業は気温が高かった

答 例年であれば、各学年8時間程度実施しているところ、今年度は2・3時間と少ない学年があった。

答 外部委託による対応についても、スイミングスクールと協議をおこなったが、現在のプール関係予算では、各学年2時間程度の利用時間しか確保

問 運行1年を迎える いっとこカーの利用状況について

答 大変好評で大きな効果が出ている

問 利用者の方々の要望や苦情等があったか。その対応はどのようになっているのか。

答 町外料金は協議検討し設定させていただいている。

答 適正な料金と考えている。回数券導入については協議が始まっているので、割引率をどうするかを早期に設定して、委託業者と十分協議を進めていくよう指導している。

問 高年齢者への免許証返納を呼びかける声が高まる中、地方では公共交通の整備が整っていない、車に代わる移動手段が必要となるが、電動シニアカーを購入する場合の補助金をイメージ写真



問 高年齢者への免許証返納を呼びかける声が高まる中、地方では公共交通の整備が整っていない、車に代わる移動手段が必要となるが、電動シニアカーを購入する場合の補助金をイメージ写真

問 令和7年7月は1千491人が利用されているが、町内外の利用者数と自宅から停留所、停留所から停留所の利用者数はどうなっているか。

答 要望は運行エリアの拡大や、待ち時間の改善などで、糸田町地域公共交通会議での協議が必要なもの、待ち時間は事前予約の啓発に努める。

答 町内利用者が1千137人、町外利用料金の見

問 1年前に要望した町外利用料金の見

質問

問 宮床団地駐車場問題でのE棟工事終了後、空き地に駐車場を検討する計画を問う。

答 家の前に置いたら取りに来る糸田町独自のサービスが、ごみステーションにする事によって今後はごみ出しが遠くなる人や、家の前に出せなくなるから地区で十分議論している中で、制度設計がいろいろあるが、また区長会とも住民の意見を聞きながら検討していく。

これも



問 カープミラーに木や枝などで見えない箇所

答 住民の情報提供も踏まえ、職員の連携で意思共有していく。

総務文教振興常任委員会

委員長：中原 副委員長：早麻
委員：山田・小嶋・木下・井手元

糸田町印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例

税務町民課

説明 マイナンバーカードに係るスマートフォンを利用した電子証明書の規定を追加するための条例改正。



今後、全国のコンビニ等でマイナンバーカードと同様に、電子証明書を搭載したスマートフォンで各種証明書を取得できるようになる。

現在コンビニ等で取得できる証明書

- ・住民票の写し
- ・印鑑登録証明書
- ・戸籍の附票の写し
- ・戸籍の謄本・抄本



全国瞬時警報システム（Jアラート）受信機更新業務委託料 440万円

防災管財課

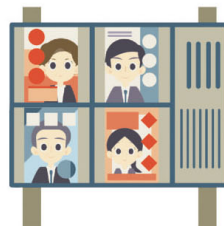
説明 Jアラートの受信機を更新するための費用。



糸田町議会議員及び糸田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

総務課

説明 公職選挙法施行令の一部改正により、町議会議員選挙、町長選挙における選挙運動の公費負担の一部を増額するための改正。



選挙運動用ビラ作成費用と選挙運動用ポスターの作成費用分が対象となる。

人づくり基金事業補助金 約38万円

教務課

説明 糸田町人づくり基金交付施行規則に基づき、スポーツ振興として費用の2分の1を補助するもの。

今回は、国際的な青少年サッカー大会に日本選抜として選出された糸田小学校6年生1名と東京往復までの随行者1名分の旅費に係る費用となる。



要望 日本代表として選出されているので、横断幕を作るなどしてアピールしてもよかったのでは。

補助を受けるための条件

文化やスポーツ、人材の育成、ボランティア活動等の振興の事業で、事業計画書を提出して、人づくり基金運営委員会の審議によって決定する。

町事業には全額、個人・団体事業には収入を除いた事業費の2分の1(上限50万円)を支援、小学生以下の大会出場に随行者が必要な場合は1名分を補助対象とし、食費は原則朝食のみ対象。必要と認める場合は委員会の判断で特例を設ける。また、糸田町に籍を置く者等の条件もある。

9月16日に建設厚生常任委員会、9月17日に総務文教振興常任委員会を開催し、一般会計補正予算含む15議案の審査をおこない、9議案は定例会最終日に各委員長から報告。6議案は決算認定議案となり、決算特別委員会に付託のため継続審査となった。

一般会計については、補正予算案として、当初予算から歳入歳出それぞれ2,934万1千円増額となり、総額が歳入歳出それぞれ68億9,426万8千円となった。

建設厚生常任委員会

委員長：竹田 副委員長：松瀬
委員：谷口・白銀・仲島・森下

福祉医療入所施設等物価高騰対策支援金

健康福祉課

説明 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、町内の福祉医療入所施設や町立病院へ定員数に1万円を掛けた金額の支援を実施。

障害入所施設7箇所	合計105万円
介護入所施設8箇所	合計364万円
町立病院	99万円

子育てのための施設等副食費補助金 約176万円

子育て支援課

説明 町内の保育所や認定こども園、幼稚園利用児童の副食費徴収対象者に対して、11月から3月までの5か月分の費用を補助。



産後ケアサービス事業委託料(増額) 35万円

子育て支援課

説明 産後ケアサービスを多くの方に利用してもらうために増額の補正をするもの。



産後ケアサービス事業とは

出産後間もない時期(出産後から12か月未満)に支援が必要な母子を対象に、ショートステイ(宿泊)やデイサービス(日帰り)、訪問等のサービス利用を通じて、母親の心身のケアや育児サポートをし、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を図ることを目的とした事業。
詳しくは子育て支援課(電話26-1233)へ



追加議案 第53号 令和7年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計補正予算 討論一覧（一部要約・抜粋）	
反対討論（森下） 本補正予算案に賛成することは、病院建替事業そのものを肯定する意思表示と受けとられ、現時点で建て替えの必要性や妥当性について十分な議論が尽くされていないと感じている以上、賛成することはできない。 町の財政状況や、将来的な医療ニーズの変化を踏まえると、建て替えという大きな決断には、より丁寧な検討と、住民の理解・納得が不可欠である。町民の皆さんとともに、持続可能である医療体制の在り方を模索していくことが重要だと考えており、その観点からも、今回の補正予算案に賛同しかねる。	賛成討論（中原） この補正予算案は、糸田町立緑ヶ丘病院建替計画の一環として、ECI方式での発注をするための債務負担行為である。町立病院の建物は老朽化しており、計画の遅れは、患者の安心・安全を脅かしかねず、少しでも早く建て替えをおこなう必要がある。ここで計画を停滞させるようなことがあってはならず、より良い建物をより安く建設するために必要な手続であると考える。
ECI方式とは	アーリー・コントラクター・インボルブメントの略で、設計段階から施工者が参画し、その技術力やノウハウを設計内容に反映させることで、建設コストの縮減や工期短縮を図る公共工事の契約方式のこと。

発議第1号 糸田町立緑ヶ丘病院院長交際費の使途等に関する調査特別委員会の設置(案) について	
提案議員：山田 陽一 賛成議員：木下 智康、森下 喬廣 提案理由：糸田町立緑ヶ丘病院院長交際費の使途等に関する事案に対し、地方自治法第100条に基づき、当該事務の調査をおこなう必要があることから、調査特別委員会の設置(案)を提出するもの。	
提案議員による説明（山田）※一部要約・抜粋 令和元年度から令和6年度までの糸田町立緑ヶ丘病院院長交際費の情報公開請求をおこなった結果、経営安定化費として高額な商品券を購入し、大学病院の各診療科・医局に渡したと報告があったが、誰に渡したのか、また確実に渡したとするに十分な確証がない。経営安定化費は、今後の病院事業を進めていく上で重要な検討課題として取り扱っていかねければならないと思うし、情報公開しないことにより不正確な臆測が流布され、関係のない大学病院等にも迷惑がかかるおそれがあることから、調査特別委員会を設置して事実関係を明らかにする必要がある。	
討論一覧および採決結果（一部要約・抜粋）	
反対討論（谷口） 院長交際費の使途について百条委員会を設置すれば、必ずや不利益になることが考えられる。百条委員会は、関係者を出頭させ、証言や記録の提出を求める強い調査権限がある。設置されれば相手の病院関係者を出頭させ、問題視している商品券を職員から受け取ったかどうかを明確にする必要がある。この行為は職員・先方の名誉を傷つけることになり、今まで長年築き上げてきた先方との信頼関係を損なうことが考えられる。今後、町立病院と一切関係性を持たない、今、派遣している医師も引き上げられる結果になれば、それこそ大問題と考えられる。町民感情としてはいかがなものかと思う。	賛成討論（森下） 院長交際費の使途について、商品券を購入し、医療関係者に配布していたということだが、これをつまびらかにすることに対し、相手方に迷惑がかかる、善意のやりとりまで疑われるのではないかといった懸念の声があることも理解している。だからこそ、事実関係を丁寧に確認し、誤解や不信を払拭するための調査が必要である。調査特別委員会は、誰かを断罪する場ではなく、町民の疑問に対し、議会が真摯に向き合い、透明性を確保することで、関係者の名誉や信頼を守る役割も果たすことになる。また、交際費という性質上、使途が不明瞭なままでは、町政全体への不信感につながりかねない。金額の大小ではなく、公金の扱いに対する姿勢が問われる。 この問題を瑣末なこととして片づけるのではなく、制度的な改善や再発防止につながる機会ととらえるべきである。糸田町が開かれた町政、説明責任を果たす議会を目指すのであれば、今回の委員会設置はその姿勢を示す重要な一歩であると考え。町民の声に耳を傾け、冷静かつ公正に事実を確認することが信頼の再構築につながると考える。
反対討論（小嶋） 交際費は、病院運営のため、相手方との信頼関係や友好関係を維持・増進する目的でおこなわれるものである。相手方の名称や支出金額を明らかにすることは、その関係性が損なわれる恐れがあるので、それを逐一公開する必要はない。仮に一般公開しても、その裁量判断も実施機関に求める権利が住民に付与されているとは言えないとの最高裁判例もある。今回町立病院は、できる限り公開をおこない、その誠意は見せていると思う。それでもなお、調査を行うというのは、何を目指して委員会を立ち上げるのか、不可解と言わざるを得ない。 このような動きがあるということは、町立病院と相手方との関係性を悪化させ、さらなる経営圧迫を引き起こし、ひいては糸田町民の福祉増進を妨げるものに他ならない。これ以上の調査・追及は必要ないと考える。	賛成討論（木下） 院長交際費で、九州大学第一外科に寸志として令和元年度2万円、令和5年度2万円、令和6年度5万円。なぜ院長交際費から支出しているのか。院長交際費から寸志を支出することは原則としてできない。交際費は院長の個人的な活動や接待に使われるものであり、医療関係の公的な経費ではない。寸志を出す場合は、院長自身の個人的な資金から支出すべき。公的資金から寸志を出すことは、不正支出の可能性があるので、十分な調査が必要だと考える。 私は、町民の皆さんの代表として、この場にいる。町民の皆さんの知る権利のためにも、議員として、不正支出が1%でも疑われる場合は、きちんと調査すべきだと思っているし、それが議員の仕事だと思っている。
採決の結果、 否決 となった	

令和7年第2回糸田町議会臨時会（7月29日）			
	件名	結果	詳細
議会結果	工事請負契約の締結について（糸田町庁舎及び住民センター空調設備改修工事）	可決	全会一致

令和7年第3回糸田町議会定例会（9月10日～9月19日）			
	件名	結果	詳細
議 会 結 果	専決処分について（訴えの提起）	承認	全 会 一 致
	令和6年度糸田町一般会計歳入歳出決算認定について	継続	
	令和6年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	継続	
	令和6年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続	
	令和6年度糸田町学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続	
	令和6年度糸田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続	
	令和6年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続	
	糸田町印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例	可決	
	糸田町職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例	可決	
	糸田町議会議員及び糸田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	
果	令和7年度糸田町一般会計補正予算	可決	致
	令和7年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計補正予算	可決	
	糸田町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	
	(追加議案) 令和7年度糸田町一般会計補正予算	可決	
発 議	(追加議案) 令和7年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計補正予算	可	決
	(発議第1号) 糸田町立緑ヶ丘病院院長交際費の使途等に関する調査特別委員会の設置(案) について	否	
請 願	国に対して、石綿建材製造企業による補償の措置と「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」による救済対象の拡大、並びに石綿建材の除去費用等の助成制度確立を求める意見書採択の請願について	採択	全 会 一 致
	子どもたちのゆたかな学びの保障と学校の働き方改革の確実な推進を求める意見書採択の請願	採択	
意 見 書	建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書	可決	致
	子どもたちのゆたかな学びの保障と学校の働き方改革の確実な推進に係る意見書	可決	



☐ は賛成 ☒ は反対
※議長に表決権はないため「－」としています。
可否同数の場合のみ裁決権を行使します。

谷口	白銀	松瀬	早麻	仲島	竹田	山田	小嶋	森下	木下	中原	井手元
											－

議長交際費執行状況（令和7年7月～9月）	
■ 8月13日	
■ 摘要 初盆(5,000円×4件)	
■ 金額 20,000円	
■ 合計金額 20,000円	

入札結果					
工 事 名	業 者 名	予定額(円)	最低制限価格(円) ※事前公表	金 額(円)	落札率(%)
R7年度福岡県農村整備総合事業 真岡地区水門更新工事(本体工事)	日新産業(株)	12,560,000	10,925,000	10,925,000	86.98
大熊橋・松山線舗装工事	吉村建設	6,771,000	6,090,000	6,090,000	89.94
糸田町庁舎及び住民センター空調設備改修工事	東都熱工業(株) 九州支店	248,900,000	211,565,000	211,565,000	85.00
令和7年度地域住宅計画に基づく事業 新町団地外壁等改修工事(1工区)	(有)翔陽建設	36,390,000	32,387,000	32,387,000	88.99

ピックアップ

町立病院の建替計画は？

イメージ図・計画は
まだ予定だよ

今定例会中の全員協議会で建替計画中の町立病院について経過報告があり、イメージ図と今後の計画をいち早く皆さまへお知らせ。



▲外観イメージ図

追加議案第53号 令和7年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計補正予算について

議案の内容説明

ECI方式を採用している建替事業において、工事が複数年度に渡ることから、将来の支出を見込んで**※債務負担行為**を設定するためのものである。

※債務負担行為とは？

複数年度に渡って支出の義務(債務)を負うことをあらかじめ議会の議決で承認する制度のこと。今年すぐにはお金を支払わないが、来年度以降に支出する契約等をあらかじめ認めておく仕組み。

採決の結果は、賛成多数で **可決** となった。

討論・採決の詳細は **17 ページ** へ

今後のスケジュール(予定)

今年度中 … ECI 業者を選定

※ ECI 方式とは？

アーリー・コントラクター・インボルブメントの略で、設計段階から施工者が参画し、その技術力やノウハウを設計内容に反映させることで、建設コストの縮減や工期短縮を図る公共工事の契約方式のこと。

令和8年2月頃

↓

令和8年8月頃

↓

令和10年1月頃

↓

令和10年2月頃

↓

令和10年5月頃

実施設計

造成・建設工事

完成予定

開院予定

研修報告

議員関係ハラスメント根絶のための議員研修 7月9日

◆場 所 … ホテル日航福岡

◆参加議員 … 井手元、白銀、早麻、森下、中原

◆研修内容 … 「地方議会におけるハラスメントの実態と防止策」
「SNS 時代の誹謗中傷問題」

健全なコミュニケーション環境の整備と制度的なハラスメント防止策の推進を図りつつ、住民との接点として SNS を効果的に活用することで、より開かれた議会と住民に信頼される政治の実現を目指していきたい。

町村議会1期目議員等研修会 7月21日

◆場 所 … 福岡県自治会館

◆参加議員 … 白銀、早麻、森下

◆研修内容 … 「『対話する議会・議員』を目指して～住民との意見交換会での(SOUND カード(TM))の活用法～」

議会が議会基本条例に基づき住民との意見交換会を実施する意義が再確認され、対話の活性化が地域・行政・議会の活性化につながる事が明確になった。今後は、議会運営の標準づくりに向けて、対話を軸とした実践を積み重ね、住民福祉の向上に資する議会改革を着実に進めていきたい。

常任・議会運営委員長・副委員長研修会 8月27日

◆場 所 … 福岡国際会議場

◆参加議員 … 井手元、松瀬、早麻、竹田、小嶋、森下、中原

◆研修内容 … 「委員会の役割と運営について」

執行部との緊張関係を常に維持し、付託された議案について慎重な審査を重ねていくことが重要であると再認識した。必要に応じて委員間で自由討議を実施し、更なる議論の深化を図ってきたい。

全国町村議会議長会主催 令和7年度町村議会広報研修会 8月28日

◆場 所 … LINE CUBE SHIBUYA(渋谷公会堂)

◆参加議員 … 井手元、小嶋、森下、白銀、早麻、仲島、中原

◆研修内容 … 「インタビュー記事を足して読まれる広報紙にしよう」
「スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本」
「議会活性化と連動した広報紙づくり」

議会だよりの魅力を高める多角的な工夫について学ぶことができた。特に、全国広報コンクールで多数の受賞歴を有する大刀洗町議会の議会広報委員会委員長を講師に迎えた講演では、同じ広報委員の立場から共感できる点が多く、本町議会だよりの更なる充実を図るうえで有意義な機会となった。

こんにちは♡いとだまちぎかいです!

糸田町手話の会 でんでんむし



手話は言語の1つであり、手指や体、顔の部位等の動きを使って視覚的に表現されます。

今回は、令和6年度にボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞した糸田町手話の会「でんでんむし」を広報委員で取材しました。



村上さん
(代表)



どのような活動ですか？

会は約42年続いていて、現在は6人で活動しています。身振り手振りはとても楽しく、言葉を発せられない場所でも会話ができるのは強みになります。覚えるととても便利です。

町に要望は？



糸田アリーナ内に無線LANを設置してもらいたいですね。ろう者は情報を得にくい立場なので、この場で最新の動画などを見ることができれば、活動でも非常に助かります。議会の配信も字幕があればいいと思います。あとは部屋を借りる料金だけで予算オーバーするので、教材等を買えないのが悩みです。



手話を習い始めたきっかけは？

近所にろう者がいて、コミュニケーションをとりたいなという思いがきっかけでした。中学生時代からずっと続けています！



白石さん
(糸田町役場職員)

会員の皆さま



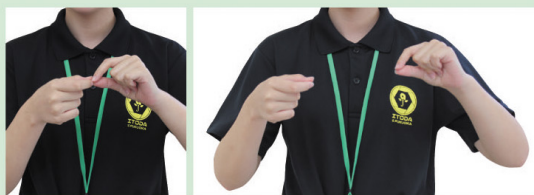
デフリンピックのボランティアに出たいです！

指で「I LOVE YOU」を表現



手話を覚えてみよう！

ぜひ覚えてね！



▲ 糸を指で横に引っ張るように



▲ 両手の指3本で「田」を作る

「糸田」の完成

毎年9月23日は手話の日

毎年9月23日は国際連合が定めた「手話言語の国際デー」であり、令和7年から新たに同日を「手話の日」として定められた。

当日は啓発の一環として、県内でも複数の自治体が庁舎等にブルーライトアップを実施している。

青は「世界平和」を意味するんだって



▲ 広報委員(小嶋・森下・白銀・早麻・仲島)で取材

議会広報 常任委員会

委員長 小嶋 康子
副委員長 森下 喬廣

委員 白銀 秀樹
委員 早麻 雄三

委員 仲島 誠一
委員 中原 詔蔵

議会だよりアンケート募集中!